

令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	精選現代文B (東京書籍)		
副教材等	精選現代文B 学習課題ノート (東京書籍)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てます。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1学期 中間	評論1 文学の未来 言語と記号	・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文脈に即して的確に読み取ります。 ・抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深めます。 ・発問への応答、ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
	小説1 檸檬	・小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解します。 ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を養います。 ・感想文、ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
1学期 末	評論2 環境問題と孤立した個人	・近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考えます。現代社会における環境問題の改善について、話し合い活動を通して、自分の考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、発問への応答、ノート、定期考査	○	-	◎	-	○
	随想 クレールという女	・随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して的確に読み取ります。筆者の人生観を反映した「人間のしるし」の意味の捉え直しについて、複数の視点から考えを深めます。 ・ノート、定期考査	○	-	-	◎	○
2学期 中間	評論3 社会の崩れる時—知性的であるとは どういうことか—	・叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解します。筆者の主張を、過去のこととしてではなく、現在の社会と接続しながら把握します。 ・発問への応答、ノート、定期考査	○	-	◎	○	○
	小説2 舞姫	・文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わいます。「良友」「一点の彼を憎むころ」について、話し合い活動を通して複数の視点から、考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、発問への応答、ノート、定期考査	○	-	◎	○	○
2学期 末	評論4 他者の声 実 在の声	・筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げます。筆者が「他者性の問題」「実在性の問題」について、どのように考えているかを理解し、筆者の主張の要点を文章にまとめます。 ・要点のまとめ、発問への応答、ノート、定期考査	○	◎	-	-	○
	小説3 トランジェット	・現代小説を読み、場面や登場人物の設定と語の展開を的確に捉えます。祖父の左腕に書かれた数字について、幼い「わたし」の理解と、後で知った事実との違いを押さえます。「深い暗闇」が暗示するものを考えます。 ・感想文、ノート、定期考査	○	-	◎	○	○
学年 末	評論5 抗争する人間	・社会構造を分析する評論を読み、その内容を的確に把握します。筆者が考える「虚栄心」について、理解します。 ・筆者の主張を踏まえ、他者とのような関係を築いていくことが望ましいかについての話し合い活動を通して、自分の考えを深めます。 ・パフォーマンス評価、ノート	○	◎	-	-	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、口頭発表、プレゼンテーション	10
③ 書く能力	レポート(感想文)、課題プリント、定期考査	30
④ 読む能力	ノート、定期考査	20
⑤ 知識・理解	課題プリント、ノート、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 古典B (第一学習社)		
副教材等	高等学校 改訂版 古典B 学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。 2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。
学習の方法	・予習では、ノートに本文を写し、古語辞典や文法書を用いて、文法や口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。 ・授業中は、口語訳や文法の確認を中心に行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。 ・復習では、学習課題集を解いて、学習した内容を定着させましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	古文 説話 発心集・今物語	・筆者が主張している内容について整理します。 ・「心を仏道に任せ」た生き方について考えます。 ・登場人物の心情を、表現に即して考えます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 逸話 説苑・列子	・登場人物の心情を理解します。 ・漢文に頻出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
1 学期 末	古文 随筆 枕草子	・本文中に現れた作者の心情や考え方を理解します。 ・文中の助動詞の意味・用法について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 古代の史話 戦国策	・春秋・戦国時代と政治論、軍事論の関係を理解します。 ・内容を読解し、論理展開を理解します。 ・行動の観察、ノート、レポート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 中間	古文 物語(一)・日記 源氏物語・和泉式部日記	・登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 ・文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 ・主人公の生き方を通じて人の世のあり方や運命に抗う姿を味読し、物語文学を深く理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 史記の群像	・句法や頻出の語彙に注意しながら現代語訳します。 ・登場人物の人柄について考察します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 末	古文 評論(一) 俊頼髓脳・無名草子	・歌論や和歌の技巧についての基本的な知識を確認します。 ・公任の和歌の評価基準を考えます。 ・一文の長い文体を読み味わい、読解力を身に付けます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査	○	—	—	◎	○
	漢文 明代の文章	・句法に注意しながら書き下し文・現代語訳を整理します。 ・人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト、レポート、定期考査	○	—	—	◎	○
学 年 末	古文 物語(二)・近世 の小説 大鏡・雨月物語	・語り手の人物を評価する視点や判断規程がどのようなどころにあるかを考えます。 ・本文全体を通して、人間の自然の心の動きを読み取ります。 ・本文中の敬語について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト	○	—	—	◎	○
	漢文 三国志の世界	・登場人物の関係性と、心情を理解します。 ・発言の意図や、詩の内容を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト	○	—	—	◎	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、発表、プレゼンテーション	20
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表	—
③ 書く能力	課題プリント、定期考査	—
④ 読む能力	課題プリント、レポート、定期考査	40
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理A	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 新地理A (帝国書院)、新詳高等地図 (帝国書院)		
副教材等	新編フォトグラフィア地理図説 2022 (東京法令出版)、地理ワークブック2022 (愛媛県高教研地理歴史・公民部会地理部門)				

学習の目標	地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模まで空間的な広がりの中なかで捉えて考察する姿勢を身に付けます。
学習の方法	地図帳や作業地図などを活用して、自然環境、産業、人々の生活・文化、地球的課題などの特徴や分布状況を空間的な広がりの中なかで捉えていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段から様々な問題に興味・関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期 中 間	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会	<ul style="list-style-type: none"> 地上の現象と地球上の位置、時差、地図の図法、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題、交通、通信、貿易について学習します。 作業プリント、発表、定期考査 	○	◎	○	○
	2章 人間生活を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> 人々の生活と地形、気候、産業、文化の関連性について学習します。 ノート、作業プリント、定期考査 	○	○	—	◎
2 学 期 中 間	3章 世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの生活や文化について学習します。 ノート、作業プリント、定期考査 	○	○	○	◎
	4章 地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題について学習します。 ノート、作業プリント、定期考査 	○	◎	—	○
3 学 期	第2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある様々な地図、GISやGPSの仕組み、情報を地図化する方法を学習します。 ノート、パフォーマンス評価 	○	○	◎	○
	2章 日本の自然環境と防災	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然環境、火山災害、地震被害、風水害、防災について学習します。 ノート、作業プリント 	○	◎	—	○
	3章 身近な地域の課題と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の課題やその調査方法、調査内容のまとめ方について考えます。 作業プリント、パフォーマンス評価 	◎	○	○	—

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、作業プリント、ノート	20
② 思考・判断・表現	発表、作業プリント、ノート、定期考査	30
③ 資料活用の技能	発表、パフォーマンス評価、定期考査	20
④ 知識・理解	作業プリント、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	公民	科目	政治経済	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	改訂版 政治・経済 (数研出版)		
副教材等	政治・経済資料 2022 (東京法令出版)				

学習の目標	1 現代の日本の政治・経済及び国際関係について関心を高め、政治・経済に関する基本的な知識や見方・考え方を身に付けます。 2 政治や経済、国際関係などに関する諸課題を主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての態度を育みます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 ・授業で学んだ範囲をその日のうちに復習し、理解しながら学習を進めてください。 ・定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第1節 民主政治の基本原則	・民主政治の基本原則を学び、民主政治の本質を理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第2節 日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、政治機構について学習し、民主主義の本質を理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
1 学期 末	第3節 日本の政治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題	・日本の政治機構について学習し、現代日本の政治について理解を深めるとともに、主権者としての政治参加の在り方を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	第2章 現代の国際政治 第1節 国際政治の動向 第2節 国際社会の課題と日本の役割	・国際社会の変遷や国際法、国際機構について学習し、国際政治の特質について理解し、国際平和のための日本の役割を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 中間	第2編 現代の政治 第1章 現代政治の仕組みと特質 第1節 経済活動の意義と経済体制	・資本主義経済と社会主義経済の発展と変容、経済体制について学び、現代の日本経済及び世界経済について理解します。 ・学習プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第2節 現代経済のしくみ 第3節 日本経済と福祉の向上	・国民経済における市場経済の機能や限界、財政や金融機関の役割などについて理解し、経済社会の在り方について考察します。 ・戦後の日本経済を学び、中小企業や農業、労使関係、少子高齢社会についての課題を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	○	○	—	◎
2 学期 末	第2章 国民経済と国際経済 第1節 国際経済の動向 第2節 国際社会の課題と国際協力	・貿易の意義や為替相場、国際収支のしくみについて理解し、国際協調の必要性や国際経済における日本の役割を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	○	◎	—	○
	第3編 現代社会の諸課題 第1節 現代日本の諸課題 第2節 国際社会の諸課題	・政治や経済などの基本的な理解を踏まえ、少子高齢化や地域社会、産業構造の変化など現代日本の諸課題について考察します。 ・環境問題や資源エネルギー問題、国際経済格差など地球規模の課題に対する日本の役割について、政治と経済を関連させて考察します。 ・学習プリント	○	◎	○	—
3 学期	問題演習	・問題演習を行い、問題の傾向に慣れるようにします。 ・学習プリント、小テスト	○	○	○	◎

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	数 学	科 目	数学探究A	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	数学探究A(学校作成教科書)		
副教材等	改訂版費チャート基本例題完成ノート 数学I【数と式、集合と命題】、数学I【2次関数、図形と計量、データの分析】、数学I【場合の数と確率、図形の性質、整数の性質】				

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習を徹底するとともに、疑問点や問題点の改善に努力してください。 ・課題は指定された期日までに、内容をよく確認して提出してください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	[数学I] 数と式	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開、因数分解について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	-
	2次関数	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数とグラフについて演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	◎	-	○	○
1 学期 末	図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	◎	-	○
	データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・データの読み取り方、箱ひげ図などについて演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	◎	○	○	-
2 学期 中間	[数学A] 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・順列、組合せ、条件付き確率について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	◎	○
	整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・整数問題、ユークリッドの互除法について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	-	◎
2 学期 末	図形の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形と円の図形的性質についての演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	○	◎
	問題演習①	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト 	○	○	-	◎
3 学期	問題演習②	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト 	○	○	-	◎
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、自発的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート 				

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、ノート	20
② 数学的な見方や考え方	行動の観察、発表、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	小テスト、定期考査	10
④ 知識・理解	定期考査、課題プリント、ノート	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	地学基礎 改訂版 (啓林館)		
副教材等	Navi&トレーニング 地学基礎 (啓林館)				

学習の目標	1 身の回りにおける自然の事物の観察や、発生する自然現象について考察します。 2 地学を通して、科学的に思考する態度や真理を探究する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・授業中は教科書の内容だけでなく、資料集に掲載されている図や表から、頭の中で地学現象のメカニズムをイメージすることが大切です。 ・家庭学習では副教材を用いて基礎知識を定着させ、授業内容をさらに理解できるように心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 固体地球とその変動 (1) 地球 (2) 活動する地球	・固体地球について、観測・計測データから理解します。 ・発表、行動の観察、観察・実験の観察、課題プリント、定期考査	○	○	○	◎
	2 移り変わる地球 (1) 地球史の読み方 (2) 地球と生命の進化	・地上での環境の変化や生物の進化を地層に残された証拠や化石から推察し、先史時代の歴史を理解します。 ・発表、行動の観察、観察・実験の観察、ポートフォリオ評価、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 中間	3 大気と海洋 (1) 大気の構造 (2) 太陽放射と大気・海水の運動	・天気図や日々の天気現象を原因と結果考察しながら理解を深めます。 ・発表、行動の観察、観察・実験の観察、課題プリント、授業ノート、定期考査	○	○	○	◎
	(3) 日本で見られる季節の気象	・日本における季節ごとの天気図の移り変わりを、原因と結果を考察しながら理解を深めます。 ・発表、行動の観察、観察・実験の観察、授業ノート、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	4 宇宙の構成 (1) 太陽系と太陽 (2) 恒星としての太陽の進化	・恒星について理解し、太陽を恒星の一つと考えて学習します。 ・星の集合である銀河、とりわけ太陽系の属する銀河系について、理解を深め、銀河の存在する宇宙について体系的に学習します。	○	○	◎	○
	5 自然との共生 地球環境と人類の関係	・今まで習ったことを実生活と関連づけて学びます。 ・日本で起こりうる災害に対して、被害を最小限に抑え、生き延びるためにどうすべきかを考えていきます。 ・課題プリント、授業ノート、定期考査	○	○	-	◎
3 学期	総合演習	・学習した内容の復習に取り組みます。 ・授業ノート、課題プリント	○	○	-	◎

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査は実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	授業ノート(ポートフォリオ評価)、発表(パフォーマンステスト)、定期考査	25
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート、定期考査	25
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、豊かなスポーツライフの設計の仕方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	
	体育理論	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・発表、小テスト	◎	○	○	
2 学期	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察	○	○	◎	
	ダンス	・宇和島東高校で受け継がれている動きを表現します。テーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現することで、イメージを具現化した作品にします。 ・行動の観察、発表	◎	○	○	
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	
	体育理論	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習を主体的に取り組むようにします。 ・行動の観察、小テスト	○	◎	○	
3 学期	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識及び技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、各先生の評価プリント、発表、小テスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、各先生の評価プリント	30

令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 Ⅱ型
単位数	3	教科書	Power On English Communication II (東京書籍)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語(数研出版)、英単語ターゲット1400(旺文社)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、適切な英文で表現できる理解力と表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。 4 GTEC ADVANCED700点以上、全商英語検定1級取得を目標とします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は、予習を前提に実施されます。教科書本文を段落構成に注意しながら読み、各段落の要点をつかんだ上で授業に臨みましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、辞書や文法書を活用して解決する姿勢を身に付けましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 7 The Power of Color	<ul style="list-style-type: none"> ・色が持つ力について学びます。 ・言葉や文字以外のコミュニケーションの重要性を学びます。 ・同格、前置詞+関係代名詞を学びます。 ・パフォーマンステスト、エッセイ、定期考査、小テスト 	○	◎	○	○
1 学期 末	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なスポーツ選手を取り上げ、彼らの偉業を学びます。 ・夢を実現させるための戦略について学びます。 ・付帯状況、while節、to+have+過去分詞、助動詞+完了形を学びます。 ・エッセイ、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト 	○	○	◎	○
2 学期 中間	Lesson 9 From Owing to Sharing	<ul style="list-style-type: none"> ・過去と現代の違いを学びます。 ・所有から共有への価値観を学びます。 ・強調表現、It is said+that…、形式目的語、過去完了進行形を学びます。 ・パフォーマンステスト、エッセイ、定期考査、小テスト 	○	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 10 Solar Cooking	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の構築について学びます。 ・ソーラーパワーを活用したオーストラリアのバスを例に挙げ、現在行われている様々な活用事例に対しての見識を深めます。 ・be動詞+不定詞、wishの用法、関係副詞where, whenの非制限用法 ・エッセイ、定期考査、小テスト、パフォーマンステスト 	○	◎	○	○
3 学期	3年生のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の読解を通して、既習事項の復習を行います。 ・パフォーマンステスト、エッセイ、小テスト 	◎	○	○	○

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト	30
② 外国語表現の能力	口頭発表、エッセイ、定期考査、パフォーマンステスト	20
③ 外国語理解の能力	口頭発表、エッセイ、定期考査、小テスト	20
④ 言語や文化についての知識・理解	口頭発表、定期考査、パフォーマンステスト	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科Ⅱ型
単位数	3	教科書	DUALSCOPE English ExpressionⅡ (数研出版)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語(数研出版)、英単語ターゲット1400(旺文社)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 基本的な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを的確に表現できる英語力を身に付けます。 3 CEFR-JにおいてA2以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、予習を前提に実施されます。授業中の言語活動に参加できるように、自分の力で教科書の練習問題等を解答しておきましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、辞書や文法書を活用して解決する姿勢を身に付けましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	UNIT 11～13 Modifying Nouns EXTRA UNIT1～3 Nouns, Articles, Adjectives BONUS UNIT Prepositions	・名詞を修飾する表現について学びます。 ・名詞および名詞の意味を限定する語句を中心に学習します。英語ならではの感覚を理解しましょう。 ・エッセイ、パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	—	○
	Expressing on Different Topics UNIT 14～17	・目的、程度・結果、原因・理由、譲歩の表現について学びます。 ・自分の夢や目標について英語で表現します。 ・学校生活について英語で表現します。 ・部活動について英語で表現します。 ・社会や福祉に関する内容を英語で表現します。 ・エッセイ、パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 中間	Expressing on Different Topics UNIT 18～21	・比較、条件・仮定、否定の表現について学びます。 ・技術や文明に関する内容を英語で表現します。 ・日本文化や国際理解に関する内容を英語で表現します。 ・言語やコミュニケーションに関する内容を英語で表現します。 ・自然や環境に関する内容を英語で表現します。 ・エッセイ、パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	—	○
	Expressing in a Paragraph UNIT22～24	・パラグラフの構成やつなぎ表現を学びます。 ・列挙や時間的順序を表す表現を学びます。 ・追加や言い換えの表現を学びます。 ・エッセイ、パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	—	○
2 学期 末	Expressing in a Paragraph UNIT25～27	・比較、対照についての表現を学びます。 ・例示の表現を学びます。 ・原因と結果についての表現を学びます。 ・エッセイ、パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	—	○
	Expressing in Paragraphs UNIT28～31	・和食の紹介文を例に、事物を紹介する書き方を学びます。 ・「住みよいまちづくり」コンテストに応募した提案書を例に企画を提案する書き方を学びます。 ・問題を提起する書き方を学びます。 ・オンラインショッピングの是非を論じた記事を例に書き方を学びます。 ・エッセイ、パフォーマンス評価、定期考査	○	◎	—	○
3 学期	Communicative Activities	・プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートをそれぞれ体験し、発表します。 ・エッセイ、パフォーマンス評価	○	◎	—	○

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	行動の観察、発表、パフォーマンス評価	30
② 外国語表現の能力	エッセイ、パフォーマンス評価、小テスト、定期考査	40
③ 外国語理解の能力		
④ 言語や文化についての知識・理解	パフォーマンス評価、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	家 庭	科 目	家庭基礎	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	1	教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館)		
副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	1 高齢社会、衣生活、住生活、消費生活について学び、人生を主体的に切り開く力を身に付けます。 2 生活の中で生じる課題を主体的に解決する実践力を養います。
学習の方法	・自立するために必要な実践力が身に付くよう学習してください。 ・実習中は技術の習得とともに、コミュニケーションをとって協力するよう心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第8章 健康で快適な衣生活をつくらう	<ul style="list-style-type: none"> ・日常多く用いられる被服材料の特徴について取り扱い、用途や目的にあった被服材料の選択や、材料に合った被服管理を学習します。 ・被服実習、ノート、定期考査、作品、行動の観察 	○	○	○	◎
1 学期 末	第4章 高齢者の生活と福祉について考えよう 第5章 共生社会をつくらう	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴や生活、高齢社会の現状や課題について取り組みます。 ・社会保険制度について取り扱い、ノーマライゼーション実現のため、自分たちがどう考え、取り組んでいけばよいか考えます。 ・ノート、定期考査、行動の観察 	◎	○	○	○
2 学期 中間	第9章 安全で快適な住生活をつくらう	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で安全な室内環境にするためにはどのような工夫が必要かを学習し、自分の住生活を快適にする方法を考えます。 ・ノート、定期考査、課題プリント、行動の観察、発表 	○	○	○	◎
2 学期 末	第10章 持続可能な社会をめざして行動しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を実現するための法律や制度について理解し、環境に調和したライフスタイルのあり方について学習します。 ・ノート、定期考査、行動の観察 	○	○	○	◎
	生活に関わる小物の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・被服製作に必要な基礎的な知識や技術を学習します。 ・被服実習、ノート、作品、行動の観察 	○	—	◎	○
3 学期	第11章 生活をデザインしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観にもとづいて、生活設計を考えられるよう学習します。 ・ノート、調理実習、行動の観察 	○	◎	○	○

(備考) 1、2学期の定期考査は、期末に行う。学年末考査は行わない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 技能	作品、実習	30
④ 知識・理解	定期考査、ノート、課題プリント	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書			
副教材等					

学習の目標	1 入試に対応できる小論文作成や面接の技術を習得し、問題解決の能力を身に付けます。 2 入試のための資料や情報の収集、模擬面接練習やテーマ別演習を通して、思考力や表現力、自発的・創造的な学習態度を身に付けます。
学習の方法	・経済に関する書籍や用語辞典等を使い、情報収集を行います。 ・大学の過去問題に触れることで入試に対応できる小論文の作成技術を学びます。 ・面接試験（ディスカッション含む）との関係も深いので面接練習も同時に行います。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 小論文の書き方	・良い小論文を書くためには、課題の主旨を正確につかむことが大切であることを理解します。また、論理的な意見や理由付けの重要性などを学びます。さらに、要約についても学習します。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	◎	-	-	○
	2 様々な出題形式	・多様化する推薦入試では、小論文の出題形式も様々です。ここでは、例題を基に、テーマ型、課題文型、データ型、融合型、教科型などの様々な出題形式について学びます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	◎	-	-	○
1 学期 末	3 志望理由書	・志望理由書で押さえておきたい4つのポイント（将来の目標、動機、過程、志望先とのマッチング）を理解した上で、自分史を作成し、その後、志望理由書を考えていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	○	○	◎	-
	4 自己PR文	・自己PRで押さえておきたい4つのポイント（長所、理由、長所を得た経緯、将来への抱負）を理解した上で、ワークシートを完成させた後、自己PR文を完成させていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	○	○	◎	-
2 学期 中間	5 面接対策	・面接の質問内容には必ず面接官の意図があります。質問の意図を考え、適切な回答ができるように準備をし、対策を練っていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	○	-	-	◎
2 学期 末	6 模擬面接	・面接対策を踏まえ、実際に模擬面接を行っていきます。面接の形式は受験校によって様々であるが、各大学、専門学校に合わせた形式（個別面接、グループ面接、集団討論）で模擬面接を行い、実践力を身に付けていきます。 ・行動の観察、実習日誌、面接	○	○	◎	-
3 学期	7 テーマ別演習	・これまでに学習してきたことをテーマ別に課題を設定し、反復学習をします。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	○	◎	-	○

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	ワークブック、面接、課題プリント	20
③ 技能	ワークブック、面接、課題プリント	40
④ 知識・理解	ワークブック、面接、課題プリント	20

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス経済応用	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	ビジネス経済応用 (実教出版)		
副教材等	ビジネス経済応用問題集、全商商業経済検定模擬試験問題集 ビジネス経済B (実教出版)				

学習の目標	1 企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を学びます。 2 国際社会の一員としての心構えについて学び、国際的なビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・国際的なビジネスに必要な経営・経済の基礎的知識を、具体的事象や事例を通して学習します。 ・教科書中心ですが、問題集や資料などを適宜利用します。また、新聞記事なども利用し、感想等を発表し、経済事象についての考えをまとめていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 サービス経済化とサービス産業	・企業活動の内容や、企業が果たす役割について理解し、企業が成長するための要因や方策などを学びます。また、企業の国際化・グローバル化の様子について、具体的に見ていきます。 ・行動の観察、課題プリント、ノート、発表、定期考査	◎	○	-	○
1 学期 末	第2章 経済の国際化	・戦後から今日に至る社会の大きな変化の中で、わが国日本の企業が発展してきた背景を理解し、日本企業の経営の特質について学びます。また、変化の激しい経済社会に、企業経営がどのように対応しているかを学びます。さらに、経済社会の一構成要素として企業の社会的責任について考えます。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 金融市場と資本市場	・企業や私たちの生活の営みである家計が構成している国の経済にスポットをあて、わが国の経済社会の変化について、生産・労働・消費の側面から学びます。また、私たちの国の経済の状況はどのような指標で表されているのかなど、経済のしくみについて学習します。さらに、政府の経済活動のしくみと、我が国の金融のしくみについて理解します。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	-	◎
2 学期 末	第4章 企業経営	・貿易の役割や動向について学ぶとともに、国際収支について理解します。また、外国為替のしくみや、国際的な資金の流れについても学習します。さらに、我が国企業の海外進出の動向や海外進出にともなう企業経営の現地化、国際マーケティングの活動内容とその手法について学びます。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興	・国際ビジネスにおいて生じる諸課題を具体的に取り上げ、その問題点や対策について考えます。また、戦後から現在に至るまでの国際経済体制の変化や、国際機関の役割について理解します。さらに、地域の発展・成長をねらいとした世界的な地域連携の動向について学びます。 ・行動の観察、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	-	◎

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、ノート、発表	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 技能	小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	財務会計Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 Ⅱ型
単位数	2	教科書	使える財務会計Ⅱ (ネットスクール出版)		
副教材等	財務会計Ⅱ問題集 (ネットスクール出版)				

学習の目標	1 財務会計に関する知識と技術を習得し、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解します。 2 会計に関する法規や基準の変更に対応し、会計情報を利害関係者に提供し、活用する能力と態度を養います。
学習の方法	・変化する企業環境と会計ビッグバン以降の会計に関する改正事項をまとめながら、具体的な実務の処理方法を学んでいきます。内容は、高等学校で学ぶ科目の中でも難しいものもありますが、教科書や問題集の例題をまじえながら計算の方法を実践的に理解できるようにします。実際の会計処理をしっかりと考えながら知識と実践力を身に付けていきます。 ・全商会計実務検定試験(12月)の受験は、希望者としています。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Chapter1 財務会計と 会計基準	・今日の企業環境がどのように変化しているのか、そして、その変化に会計実務がどのように対応しているのか、さらに会計ビッグバンや会計の国際化の現状を理解し、会計実務の果たすべき役割、資産の評価基準、金融資産について学習します。 ・行動の観察、グループ活動、課題プリント、ノート	○	○	-	◎
	Chapter2 資産会計					
	Chapter3 期末棚卸資産(商品)の評価					
	Chapter4 有価証券					
1 学期 末	Chapter5 固定資産	・今日の会計実務には、新しい領域がたくさん取り入れられています。固定資産の評価方法、減損会計、また金融負債の評価方法さらにはリース会計について学習します。 ・行動の観察、グループ活動、小テスト、定期考査	○	○	-	◎
	Chapter6 減損会計					
	Chapter7 無形固定資産					
	Chapter8 負債会計					
	Chapter9 リース会計					
2 学期 中間	Chapter10 外貨換算会計	・外貨建取引の会計処理、純資産の意味と分類、さらには企業のグループ化とはどういうことをいうのか、そして企業グループの連結財務諸表は、どのようにして作成するのか、その手続きを学習します。 ・行動の観察、グループ活動、課題プリント、ノート	○	○	-	◎
	Chapter11 純資産会計					
	Chapter12 企業会計					
	Chapter13 連結会計					
2 学期 末	Chapter14 持分法	・持分法の基礎知識と処理、財務諸表項目の換算、キャッシュ・フロー計算書、さらには税効果会計についても学習します。 ・行動の観察、グループ活動、小テスト、定期考査	○	○	◎	-
	Chapter15 在外支店					
	Chapter16 キャッシュ・フロー計算書					
2 学期 末	Chapter17 税効果会計	・有価証券報告書と連結財務諸表から得られる連結情報について学習します。また、企業価値の評価、財務諸表分析と株価について学習します。 ・行動の観察、グループ活動、レポート	○	◎	○	-
	Chapter18 財務諸表の活用					
3 学期	Chapter19 監査と職業会計人	・信頼できる財務諸表を作成するための会計責任と監査制度、職業会計人の職務と社会的役割について学習します。 ・行動の観察、グループ活動、レポート	◎	○	○	-

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、グループ活動、課題プリント、ノート	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、グループ活動、小テスト、定期考査	30
③ 技能	小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、定期考査、ノート、レポート	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商 業	科 目	ビジネス情報管理	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	ビジネス情報管理 (実教出版)		
副教材等	「ビジネス情報管理」システム開発作品集(校内発行)				

学習の目標	1 企業内の情報通信ネットワークを構築して、円滑に運営する知識と技術を習得します。 2 販売情報システムや財務情報システムを開発する知識と技術を習得します。 3 ビジネスの諸活動において情報を管理し、共有することの意味や必要性について学習します。
学習の方法	この授業では、情報ビジネス科で2年間学んだ知識をもとに、データベースのシステムを作る実習やソフトウェア開発の手順を学び、システム開発を行います。実習の多い授業となるため、特に授業は集中して取り組みましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 ビジネスと情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動における情報システムの活用を取り扱い、業務を合理化するための情報システムの必要性について学習し、セキュリティ管理を行うための基礎的知識と技術を習得します。 ・課題プリント、小テスト 	◎	○	○	○
1 学期 末	第2章 情報通信ネットワークの構築と運用管理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みと通信方法、ネットワーク機器の種類と機能などを取り扱い、情報通信ネットワークを構築し、円滑に運用管理するための基礎的知識と技術を学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	○	○	○	◎
2 学期 中間	第3章 ビジネス情報システム開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス情報システム開発に関する基本的な知識と技術を学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	○	◎	○	○
2 学期 末	第4章 システム開発実習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、システム開発を行います。12月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。 ・システム開発日誌、課題プリント、システム開発作品発表、定期考査 	○	○	◎	○
3 学期	第5章 システム開発冊子の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、システム開発の冊子を作成します。1月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。 ・課題プリント、システム開発日誌、システム開発作品集 	○	○	◎	○

(備考) 1 1学期の定期考査は中間、2学期の定期考査は中間・期末に行う。3学期は、開発実習の評価のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、システム開発日誌	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、課題プリント、システム開発日誌	20
③ 技能	小テスト、システム開発作品	30
④ 知識・理解	課題プリント、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。